

## 初！北アルプス縦走

日時：2008・8・14～8・16

山名：北穂高岳～涸沢岳～奥穂高岳～前穂高岳

形態：縦走

メンバー：勅使河原 鈴木

報告：鈴木

13日(水)20:30 待ち合わせ場所を出発

14日(木)午前1:00頃だったかな？ 沢渡到着 駐車場にて テン泊

4:30頃 起床 タクシー相乗りで上高地へ

5:40 上高地を出発 天気は曇 明神・徳沢・横尾・屏風岩のクライマー達を時々立ち止まりながら眺めつつ  
本谷橋あたりでガスが掛かり雨も降り出す

涸沢テント場に12:00到着 テントを張った途端に大雨 しばらくすると雷まで…

もう テントから出たくな～い と テント内でごろごろ…

夕方 雷雨はおさまったが 雲が切れたり また雨が降ったりの繰り返し 夕食のカレーで身体の中から温まる  
昨夜仕事明けで出発し ほとんど寝てないせいか そのまま 朝までぐったり就寝

15日(金) 6:00涸沢テント場を出発 ガスがかかる曇天の中 北穂高岳を目指す

北穂高までの登りは 正直 たいした事ないのかな？と思っていたら 大間違い！！

もうすでに 落ちたら 転んだら 大変だよ～(汗) と思い

約13キロのザックに振られないよう バランスに気を付けながら歩いた

9:30 北穂高岳山頂 携帯の電源を入れメールをチェックをしたら

滝谷登攀の久地井さん達が「テント場で停滞中」とのメールを確認

行ってみようとテント場に戻る途中 遭遇

「取り付きまで行ってみて可能だったら登ってみる」という久地井さん達と

今後の山行を励ましあいつつ分かれ 自分達は涸沢岳へ…

確かに地図には「危」マークが… 本で調べたりして 少し覚悟はしてきたつもりだった…が…

想像のレベルははるかに超えたものだった！ まるで ロープのないクライミングじゃないのお？？？

勅使河原さんに 「「テンション」とかいいつつ落ちないでね」と言われたが ジョークでなく真剣にそう思った  
恐怖心と戦いつつ 勅使河原さんの 指導&見守りの中 少しづつ 岩稜をつめるうちに もう戻れない

前進しかない！ 一人小さく「がんばれ自分 がんばれ自分」とつぶやきながら 登る

12:40 無事に 涸沢岳山頂！

あまりの感動に 涙が溢れてきたが 恥ずかしいから バレないようにぬぐう (笑)

奥穂(穂高岳山荘)のテント場13:00到着

テントを張って まつりしていたら 次から次へと韓国人の団体が…どの位の人数がいたのかな？

山小屋は「韓国」になっているにちがいない と話しつつ 中華な夕食を食べる(笑)

夜中は またも風と雨 しかも ものすごい強風で テントに揺り起こされ夜中 何度も目が覚める

16日(土) 朝 相変わらずの強風 湿っぽ～いガスも掛かっている

とりあえず目の前の奥穂高はチャレンジして ダメだったら 前穂を諦めて戻る事にしようという事で

6:00 出発 前日の多数の韓国人団体さんと 地元県内のウインズワールド団体さんと

ゴッチャになって 混雑の中 奥穂山頂に向かう

6:45 奥穂高岳山頂 間ノ岳の方角を向いて 二人で手を合わせた後

記念撮影の順番に並んだ方々を横目に 看板の写真だけ撮って通過気味に

とおり抜けた所で急激に天気好転 吊尾根で 時々立ち止まつては 眺望を眺めつつ

9:05 前穂高岳山頂 北尾根？を登ってきたクライマー達をながめつつ しばし休憩後 下山開始

重太郎新道を下る頃には 初連泊縦走の私はヘロヘロに…

勅使河原さんのザックに少しづづ 荷物を移動してもらいつつ 14:19 無事上高地へ下山

メールをチェックしたら 久地井さん達は1時間前に上高地にいるとの事

やっと沢渡駐車場で合流 健闘をたたえあいつつ 温泉につかり

道中 夕食 休憩をとりつつ 無事それぞれ帰宅しました

全くの余談ですが 「三歩」には会えませんでした(笑) レスキューを呼ぶ事がなくてよかったですけどね！

様々な風景の中で 何度もここかなあ？というシーンと三歩の姿を思い出しました

長野側のパトロールのヘリコプターは毎日飛んでたから

クミちゃんや野田隊長は乗っていたかも？(笑)